

立川第四中学校区（幸小、柏小、立川第四中）

〔小中連携のテーマ〕

立川第四中学校区の小学校と中学校が情報交換を密にし、相互の理解を図るとともに、9年間を見通した取組を通して連携をし、豊かな心と確かな学力の育成を図る。

〔ねらい〕

児童・生徒の健やかな成長のために、9年間を見通した教育活動を目指し、3校が課題を共有し、具体的な取組を行う。

※今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施できない取組もあります。

〔具体的な取組〕

- ◆年間3回、3校の授業を相互に参観し、参観後5つの分科会に分かれて協議を行う。
- 児童・生徒、教職員による相互交流を通して、連携を深める。
- PTA、地域との関わりを生かした連携活動を推進する。

1 「確かな力」～学習指導と健康教育等に関すること～

◆授業参観後の算数・数学部会と外国語活動部会

- ・指導法の工夫や、小・中の接続を視点とした意見交換を行う。

○小学校外国語活動への中学校英語科教員の派遣

- ・小学校5、6年生の外国語において、各クラス年間2時間ずつ、立川第四中学校の英語科教員とT.Tによる授業を行う。

○中学校の夏季学習教室への小学校教員の派遣

- ・中学校1年生の数学（基礎コース）において、前年度6年生を担当した小学校教員が、中学校



【中学校1年生 夏季学習教室】

教員とともに生徒を指導する。

2 「やさしい心」～人権教育、道徳教育、健全教育等に関すること～

◆授業参観後の生活指導部会

- ・各校の生活のきまりについて、共通事項や連続性についての確認を行う。
- ・生活指導等に関する情報共有と、効果的な指導の方法や課題解決に関する具体的な意見交換を行う。

○校外生活（安全・防犯）における指導の連携

- ・校外生活の様子、不審者情報の共有やSNS学校ルールの見直し等に関して、情報交換を密にし、一貫した指導となることを心がける。

3 「個を輝かせ」～特別支援教育、キャリア教育、特色ある学級づくり等に関すること～

◆授業参観後の特別支援部会

- ・児童・生徒に関する情報共有と、3校で共通した取組に関する協議を行う。

○キャリア教育の推進

- ・小学校2校で中学校2年生の職場体験を受け入れ、望ましい勤労観を育む。

○小学校6年生の中学校訪問

- ・3学期に幸小、柏小の6年生が立川第四中学校を訪問し、生徒会による学校説明、授業体験、部活動体験を通して、中学校生活に対する関心・意欲を高めさせる。



【小学校6年生 授業体験】

○児童・保護者支援の連携

- ・中学校入学前に、様々な情報や外部機関との連携に関する引き継ぎを行うとともに、保護者面談の設定等、継続した支援に取り組む。

4 「社会のために」～社会性の育成、生き方を考える力・実践力の育成、開かれた学校づくり等に関すること～

○四中校区合同音楽会開催

- ・四中校区の3校(立川第四中、幸小、柏小)で合同音楽会を開催。お互いの発表を聴くとともに、多くの保護者や地域の方々に参観して参観していただく。



【ウインターコンサート】

○地域の生活者としての自覚と相互扶助の意識を高める救急救命講習

- ・小学校6年生は2時間、中学校2年生は3時間の講習を全員が受講する。

□3校PTA主催による「ウインターコンサート」の実施

- ・中学校の吹奏楽部、小学校の吹奏楽クラブ、四中校区PTAコーラス、地域楽団のコーラスグループ等による演奏会を開催し、四中校区の地域連携を深める。

〔取組の成果と課題〕

1 成果

- 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できない取組が多い中、感染症対策を講じながら、各校で連携して可能な限り実施した。

- 各取組においては、小中の連続性を意識し、連携の充実を図られた。

2 課題

- 小中連携教育推進において、授業改善に関する連携と実践を推進する。

- 児童・生徒の学習力向上を目指し、タブレットPCを活用した学習活動等の情報交換の充実を図る。

- 立川市民科の活動内容、小学校における外国語指導等の一層の充実を図る。

